

取組報告

～2学期の巡回相談について

本校コーディネーターが保育所、幼稚園、学校を訪問して相談を行っています。夏期休業中から2学期（11月末）にかけて、8件の相談がありました。今回は相談の中から「集団に入りにくい」という事象についてお伝えします。

集団に入りにくい子供には感覚過敏が隠れているかもしれません。周囲が何とも思わない音や臭い、視界に入る周りの動きなどを不快と感じ、その感覚から逃れるため教室に入れないことがあります。また触覚過敏のある子供は識別系の触覚がうまく働かず、触れたものがどんな種類のものなのか、安全かそうでないかがよくわからないことがあります。そのため、例えば後ろから触れられると触覚防衛反応として強くたたき返してしまったり、後ろから触れられるのが怖くて教室に入れなくなったりすることもあります。支援としては、例えば聴覚過敏の子供たちには不快な音を和らげるためにイヤーマフを利用することや、触覚過敏のある子供の座席の配置や順番を配慮することなどが考えられます。また触覚過敏の子供たちには識別系の触覚を育てるため、背中に文字や図を書いて当てっこをするゲームや形を触って当てるタッチアンドゲス（写真参照）なども有効です。

集団（教室）に入れないことを本人の怠学といった気持ちの問題と捉えるのではなく、感覚の過敏さという視点でも捉え、その上で授業に参加できるための配慮を考えることが大切です。



書籍紹介

「感覚統合生かしてたのしく学習―読む力・書く力を育てる」（佐藤 和美/著 かもがわ出版）

運動企画や手先の協調運動を高めるゲーム、体の動きや力加減を調整するゲーム等がもりだくさんに紹介されています。子供たちが楽しく苦手を学べること間違いなしです！



書籍紹介

「発達障害の子の感覚遊び・運動遊び 感覚統合をいかして適応力を育てよう1」（木村 順/監修 講談社）

姿勢が悪い、落ち着きがない等、子供の行動のなぜ？を感覚統合の視点から解説してくれます。

木村氏の著書はイラストも多く、わかりやすいので他のシリーズもお勧めです。



教材紹介

～時間の流れを意識する

串本小学校のすてきな教材を紹介します。この掲示板は、目に見えない時間の流れを学習するために取り組んだものだそうです。とてもカラフルで、「何が描かれているんだろう」と興味を抱かせる掲示板ですね。

季節を代表する植物や長雨が続いた梅雨、そして連続してやってきた台風など、身の回りで起こった様々な出来事と学習発表会や縄跳び大会など、日々の学習で体験したことを月日や季節の移り変わりに関連付け、時系列に視覚化されています。この学習を通して、時間の流れだけではなく、自分自身の成長の気付きにもつながったそうです。



取組報告

～聴覚巡回

10月12日（金）に聴覚障害支援体制連携会議の取り組み一環として、和歌山ろう学校、はまゆう支援学校の先生方と一緒に巡回相談に行かせていただきました。小さなお子さんの聞こえの検査の様子や最新式の補聴援助システムなど、聴覚に関する勉強をさせていただく機会になりました。

その中でも特に「ロジャーセレクト」について紹介します。

これは「話し手の声を拾い無線で直接耳元に送信するワイヤレスマイクロホン（送信機）」だそうです。ざわざわしているところでも聞きたい方向の音がよく聞こえるその指向性の高さに驚きました。



特別支援学校

～センター的機能について

みくまの支援学校では、以下の8つのことが相談できます。

巡回相談を依頼する際の参考にご活用ください。

- ・ 障害の特性理解・実態把握
- ・ 教育課程の編成
- ・ つなぎ愛シート、個別の指導計画の作成と活用
- ・ 自立活動の指導
- ・ 教材・教具の作成と活用
- ・ 特別支援教育に係わる情報発信
- ・ 障害のある子供のキャリア教育
- ・ 特別支援学校が有するネットワークの照会

詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。

